

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 327

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 2. 予防費 現年		
事業名	健康増進事業				
細事業名	メタボ予防健診、肝炎ウイルス検診				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	小林 早苗

## 1. 事業の概要

命に係る心疾患や脳血管疾患等の予防のために、早期からメタボリックシンドロームに着目した健診を実施し、生活習慣病を予防する。  
感染症で肝臓がん発症の危険もある肝炎ウイルス検診を実施し、早期発見・早期治療し発病を予防する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

市民が自分の健康を自分で守り健康で自立した生活を続けていく為に、市民健診を自身の生活習慣を振り返るきっかけにしてもらう。

### ②事業を実施する必要性

市民が生活習慣病の予防を実践し、健康寿命を延伸させるために必要な導入部分となるのが市民健診である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	30,490	10,450	3,016	3,187	4,987	4,987	4,987
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	553	511	28	33	36	36	36
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	2,768	186	196	200	300	300	300
国・府支出金	千円	13,902	3,604	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	13,820	6,660	2,820	2,988	4,687	4,687	4,687
職員等の従事人員	人/年	—	1.79	0.45	1.17			
人件費	千円	—	11,364	2,921	7,504			
事業費総額	千円	—	21,303	5,909	10,659			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

特定健診(生活保護世帯) 225,822円  
メタボ予防健診 2,803,145円  
肝炎ウイルス検診 158,510円

## 5. 事業結果の概要

メタボ予防検診の対象年齢は、20歳から39歳だが、20歳代の受診は62人、30歳代の受診は352人で合計414人であった。  
肝炎ウイルス検診はリスクの高い年代の検診が終了したので、40歳節目の受診者54人の中で感染者の発見はなかった。

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

生活習慣病の予防を早期から行っていく目的で、メタボ予防健診は有効な手段と考える。受診者数増への取り組みが引き続き必要である。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

メタボ予防健診については、対象年齢を30歳から10歳引き下げ20歳から対象としたため、若干、受診者は増加した。

##### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
メタボ対策として市独自で30歳からの健診を実施したが、その年齢の協議を行った。又、すこやか健診の治療中対象者が多い中での有効性・効率性について協議を重ねた。
- ②当該事業のアピール事項  
メタボ対策として21年度から20歳からの健診を実施。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
市民健診の法的根拠が異なり、市民にわかりにくい健診になっている。理解しやすい内容で啓発を勧めたい。